

小町浮世源氏繪

京山作  
國貞画

森治

~ 13  
3743  
15





門 13  
號 3743  
卷 15



小野の浮世源氏繪初編よ今既九編  
十編の傳はあはれは好寵とらけはあり  
いと傳の傳れさだなるもつまく料もええ  
小町繪の傳れさだなるもつまく料もええ  
ら糸書つりつる水堂なれをあやを種とるもあ  
むたに見るふありら死繪を讀と退屈せよ  
る成ありはれと我が御代ふふあはれも  
あつて書肆の幸ひ多うんか

天保五年 春脱稿 秋上梓 山東庵京山

浮世源氏八編







古今集の序小云小  
 衣通姫の流多  
 わりれ  
 ろもや  
 むの  
 玉造との書小云とて

くもりのつらさうま  
 ろるゆるあつふれ  
 ほろろいよ  
 おもれはる  
 小町がゆきふりて  
 玉造との書小云とて

○まろ  
 ありの書  
 とも小云  
 たろる本傳  
 といふ古  
 と古今後集  
 いせ抱徳大和  
 のがろを足  
 れ小町かろ  
 仁明文徳の頃  
 きて今とま  
 十余年  
 美人を  
 た



行か  
 ことつ説  
 あれ高  
 此大町の  
 録入  
 大師ハ美和の  
 われるち小町盛  
 ありそちれ  
 抄云出羽の郡司  
 女仁明の時新  
 此の人云々  
 御抄云出羽の郡  
 司小野良実女と  
 袖中抄云救十  
 在京と好色

死に  
 八十八嶋  
 無名抄  
 業平小町  
 鬮腰とて  
 ありの下の  
 句とけ  
 童蒙抄  
 ありて業平と云い  
 との説ありは

下り人  
 り  
 又え  
 り





小町様の精霊

小町様

里の名と  
小野とらひ西よ小町の塔  
ありかろふ清水  
あり

黒宿主 大伴の 行位所  
主 宿 大 伴 行 位 所



中納言伴善雄が子深草の少将善佐

かの草子を

小野の

小町が  
舎り人

丸き雀

山州名跡  
志雅州  
府志等  
小野の  
所が家山  
郷の郷  
東の郷  
余の郷  
在り小町が  
住一所













五

五







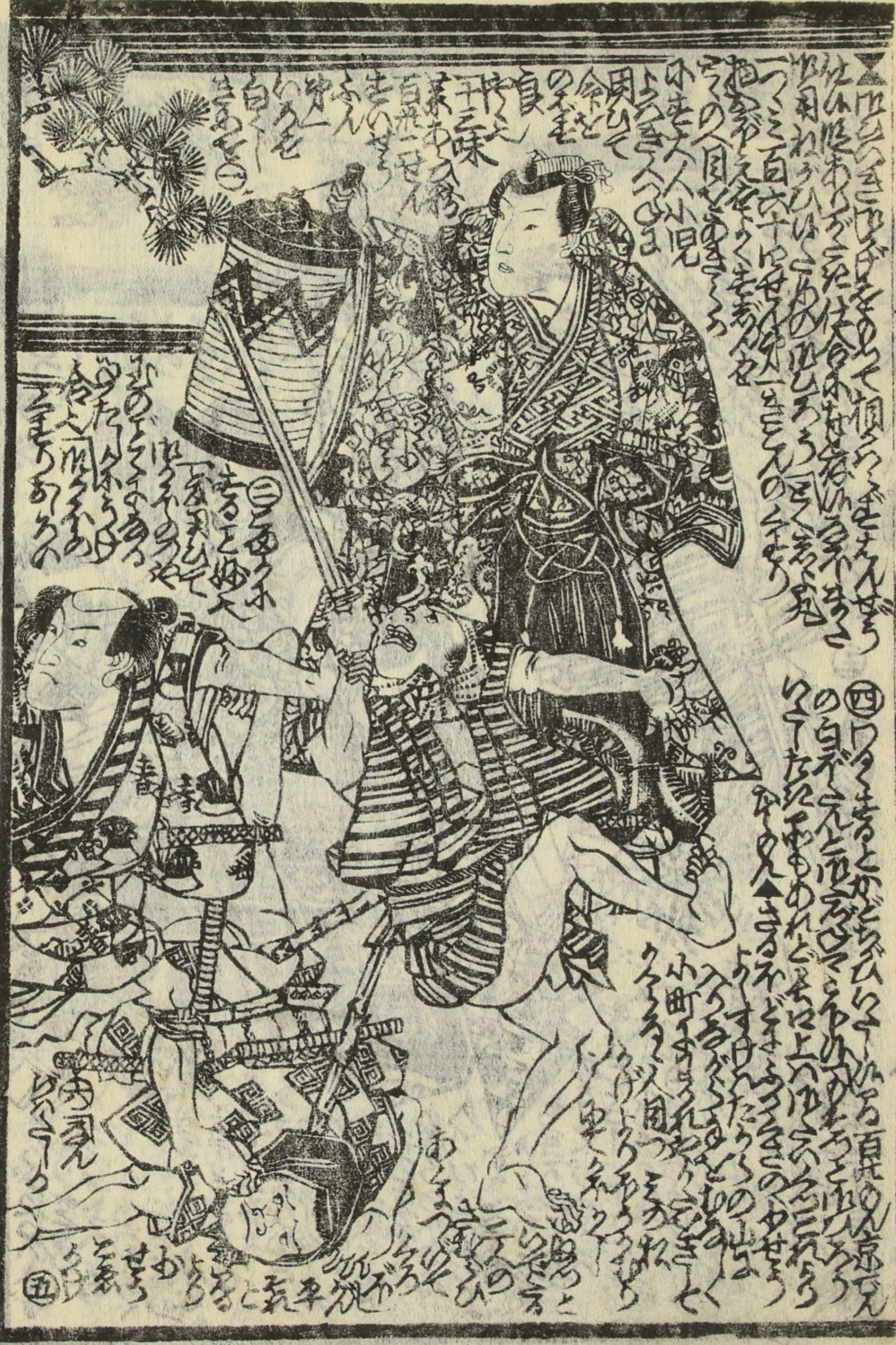






かみせり八ノ一用

九



かみせり八ノ一用

九

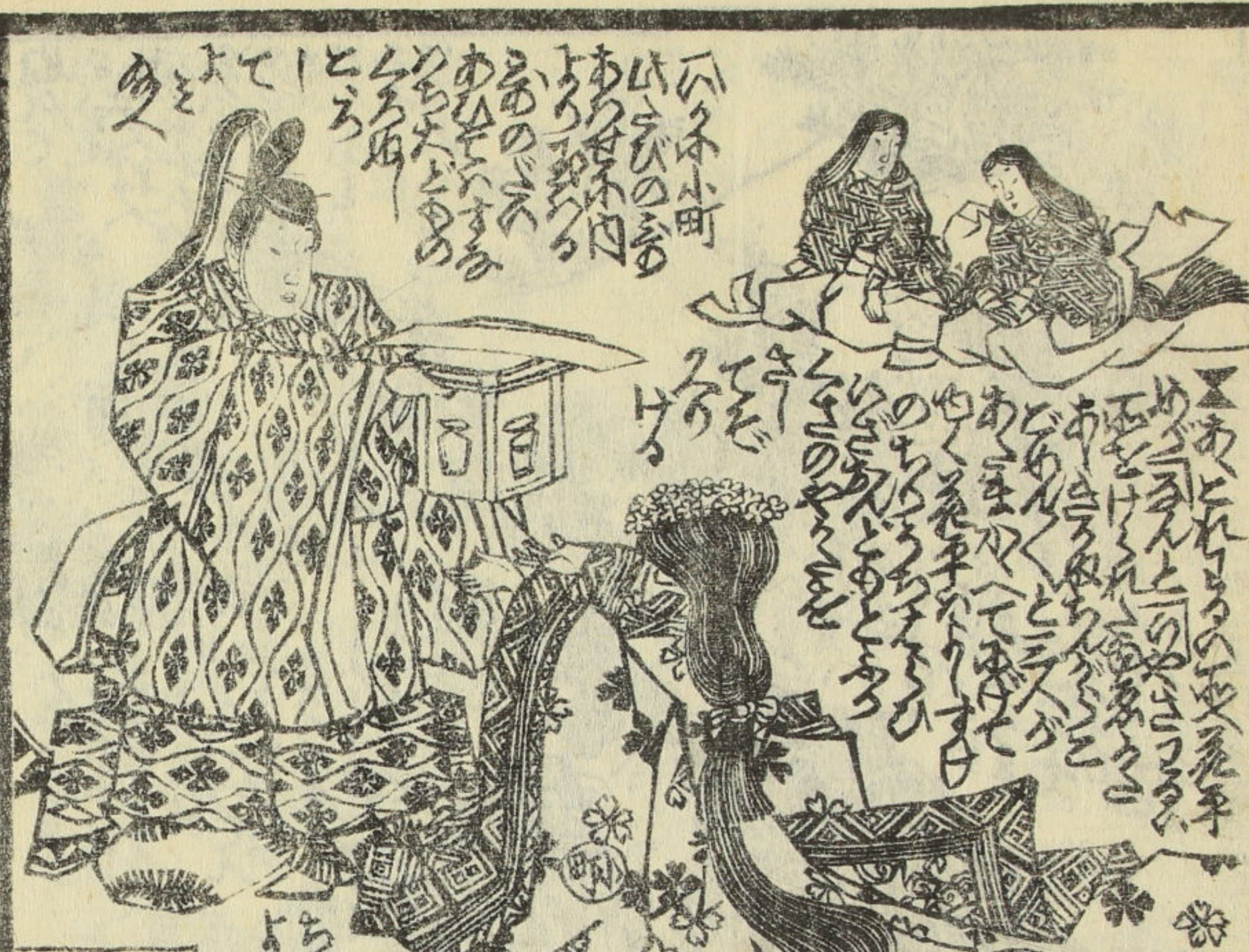






山東庵京山作

# 山東庵京山作



△それのよきと云ふは  
 大と申す所の事なり  
 水のとらひの事なり  
 小町をあらはせし事なり  
 山東庵の事なり  
 京山の事なり  
 作の事なり  
 山東庵の事なり  
 京山の事なり  
 作の事なり

# 香蝶樓國貞画





